



はなのき

神坂小学校だより No.9 2025.11.25



神坂小学校 最後の文化祭を終えて

校長 伊藤 博章

11月8日(土)に、神坂小学校最後となる文化祭を実施しました。子供たちはたくさんの方の参観者を前にして、堂々と発表することができました。まさに「ここぞという場面で、失敗を恐れずに全力を発揮する」ことができている姿を見て、胸がいっぱいになり、目頭が熱くなりました。今年の各学年の発表内容は、子供たちと担任が共に作り上げたことがよく分かるものばかりで、学級の安心感と一体感が伝わってきました。最後の文化祭にふさわしい感動が、会場いっぱいに広がる素敵な時間でした。

【1. 2年生：音楽物語「くじらぐも」】

1人欠席だったため、5人の子供たちと担任の長島先生による少人数の発表でしたが、大きな口でよく聞こえる声、全身を使った工夫された動きがまるでミュージカルのようでした。見ている人たちを笑顔にするかわいさいっぱいの発表でした。



【3. 4年生：音楽物語「大池の主」】

感情表現の工夫で物語の内容に引き込まれた語り、担任の久木先生の伴奏にのった素敵な合唱。一人一人の声が分かる大きな声でしたが、その音がぶつかり合うのではなく、響きのあるきれいなハーモニーを堂々とした姿で発表できました。



【5年生：器楽合奏「アフリカン・シンフォニー」 朗読・歌「島崎藤村先生作品」】

担任の渡邊先生の全力の指揮のもと、互いの音を聴き合いながら演奏していることが分かるカッコイイ合奏と、堂々とした大きな声の朗読でした。演奏には養教の浅石先生も参加しました。「響け、僕たちのハーモニー」「全力で楽しんで」のテーマのもと取組を進めてきた成果が十分に伝わる発表でした。



【6年生：合唱「神坂の四季」】

担任の赤塚先生の穏やかな指揮のもと、分かりやすい語り、響きのある合唱、様子が伝わるスライドで神坂の四季を表現しました。これまで体験したことや、これからも神坂地域を大切にしたいという思いが伝わってきました。最高学年らしい工夫のある発表でした。



【全校三味線】

一音一音の響き、音の重なりがとても心地よかったです。途中、スピードがズレかけたところがありましたが、互いの音を聴き合い自分たちで調整できたところから、これまで積み重ねてきた地力の強さを感じました。そのような取組が、聴き手に感動を与えることがよく分かる演奏でした。



3月には閉校を迎えますが、これからもお互いの頑張りやよさを認め合いながら、一生懸命の姿と温かい笑顔でいっぱいの神坂小学校をつくり、自分たちの最高の姿で締めくくることが目指していきます。

